

経営比較分析表（平成29年度決算）

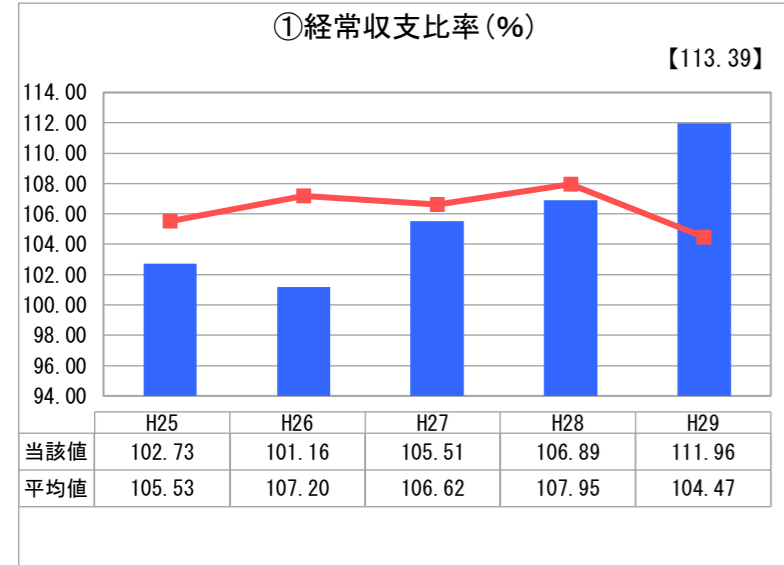
岩手県 九戸村

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A8	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	55.77	92.00	3,943	

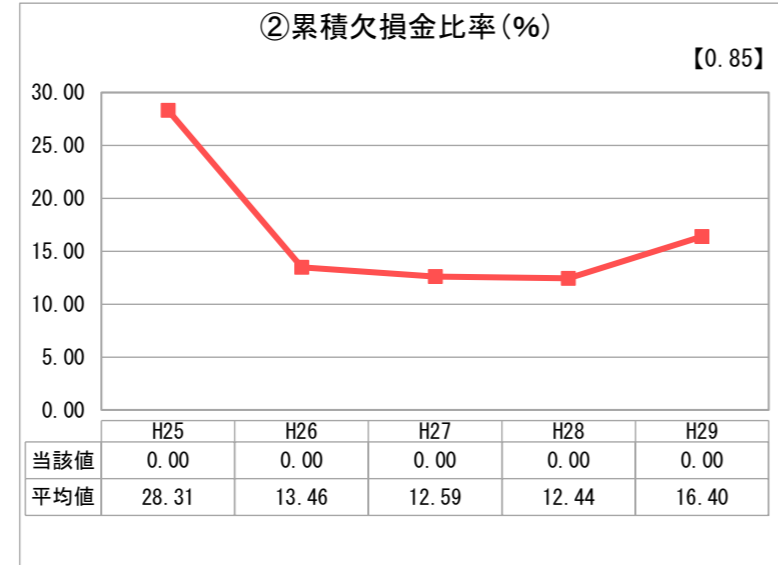
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
5,927	134.02	44.22
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
5,408	25.87	209.05

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	平成29年度全国平均

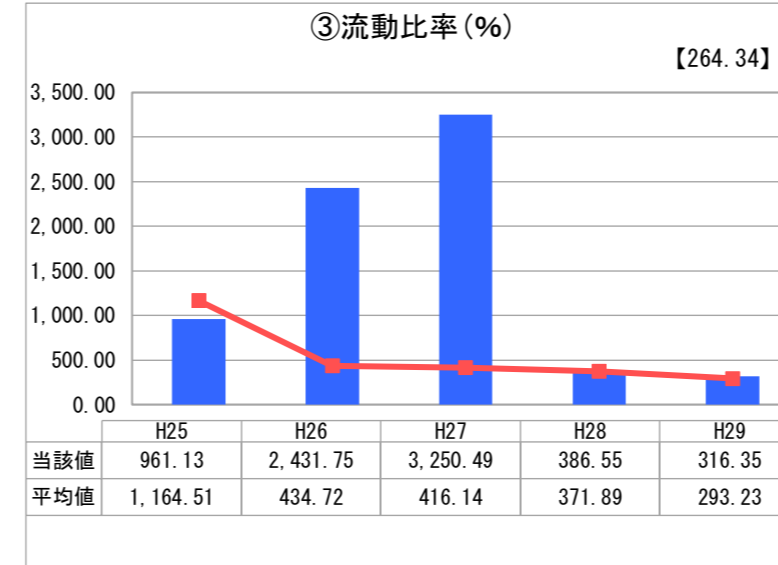
1. 経営の健全性・効率性



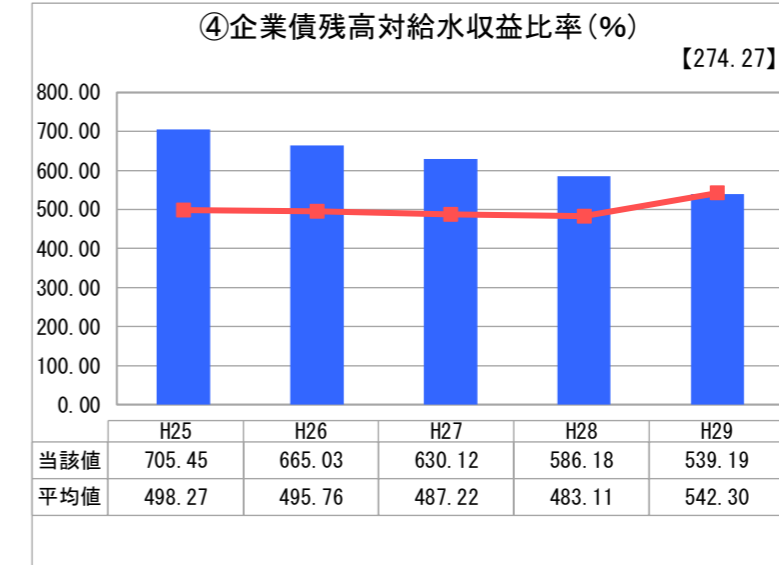
「経常損益」



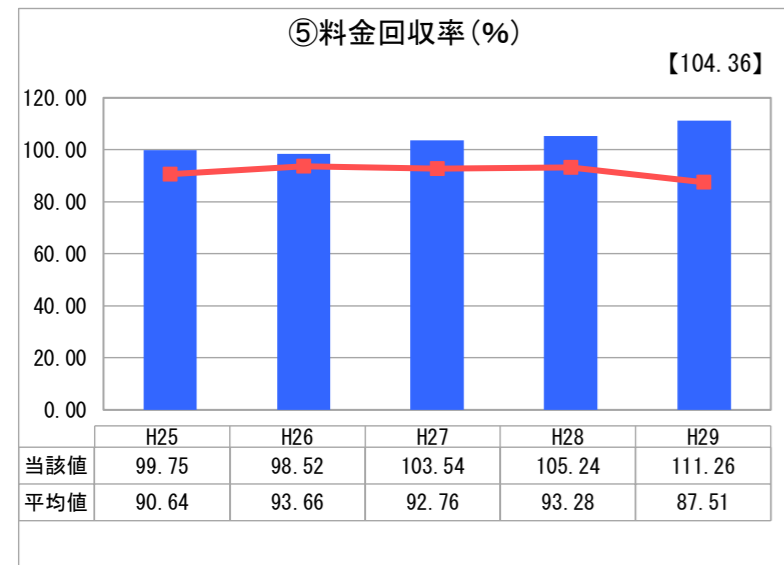
「累積欠損」



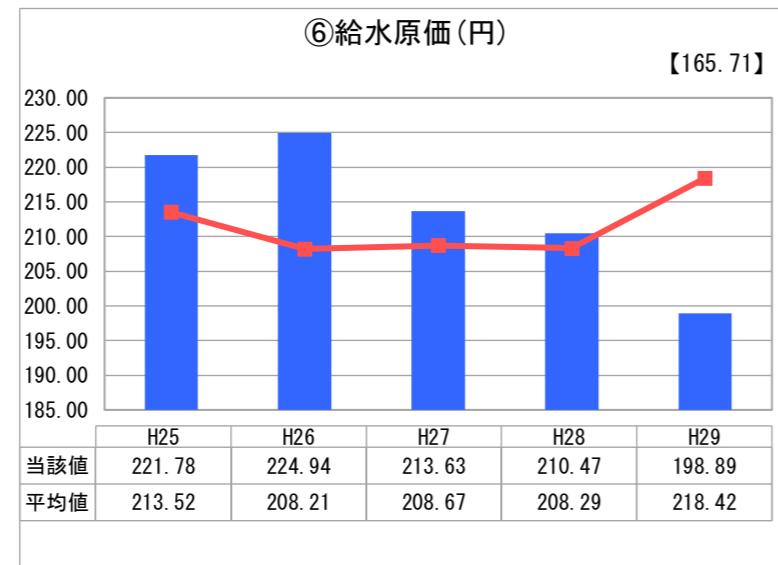
「支払能力」



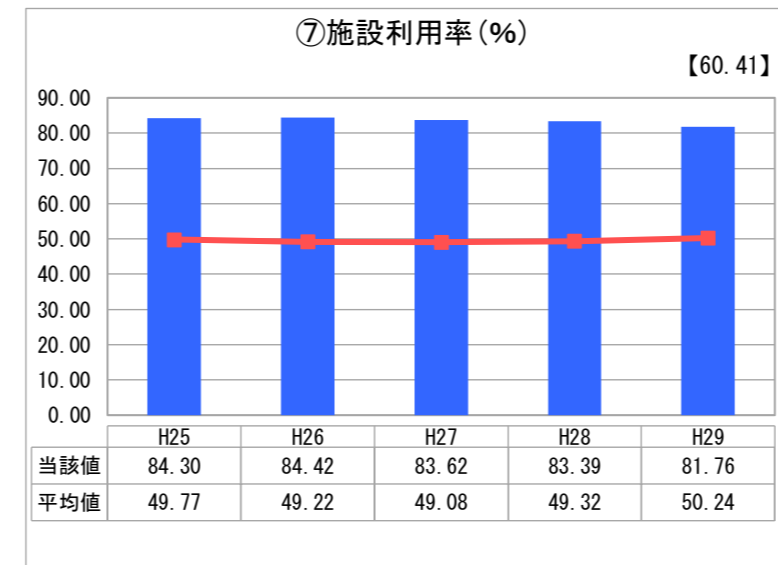
「債務残高」



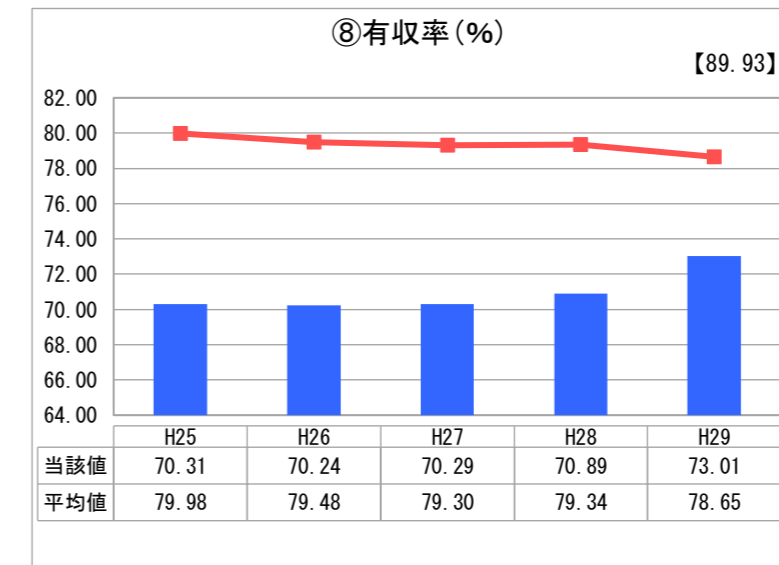
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

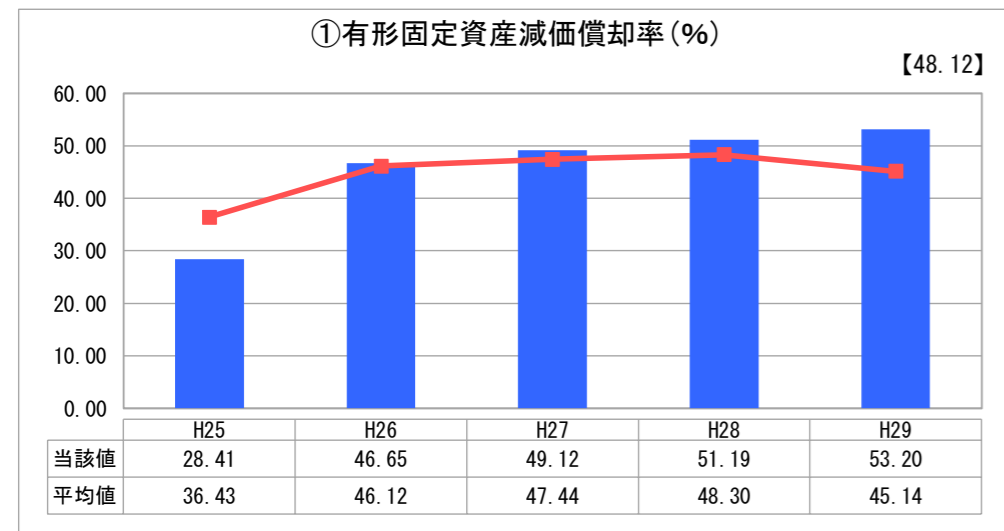


「施設の効率性」

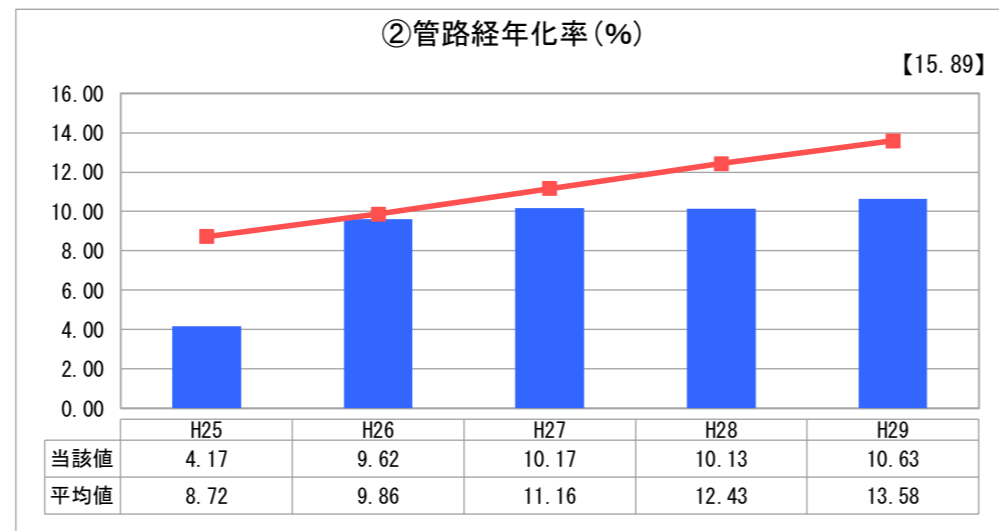


「供給した配水量の効率性」

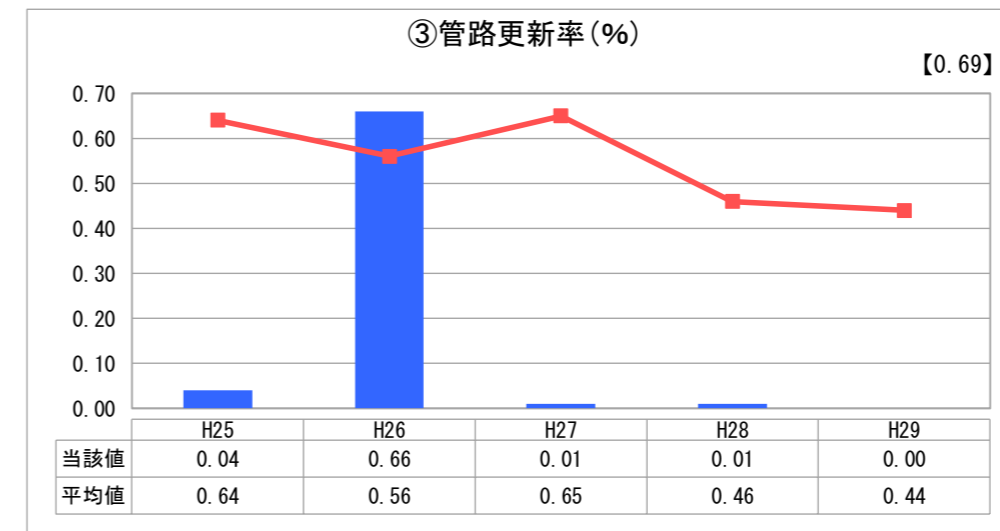
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経営の状況は、経常収支比率及び料金回収率は年々上昇傾向にあり、また漏水の解消から給水原価も類似団体を下回る結果となったことから概ね健全性が保たれている状況ではある。
 しかし、流動比率はまもなく償還金のピークを迎えることにより減少傾向にあり、企業債残高対給水収益比率については、類似団体の平均を下回っているものの施設設備の更新の時期を迎えていることから、必要に応じた経営の見直しを行う必要がある。
 給水原価については、今後更なる維持管理費の削減を図り、経営の改善を検討する必要がある。
 施設利用率及び有収率については、施設の稼働状況は高いものの、有収率は全国及び類似団体に比較し大幅に低い状況となっていることから、漏水地区の特定やメーター不良などの原因解明と早期解消に努め、収益の向上を図る必要がある。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率については、全国及び類似団体平均とほぼ等しい状況であるが、年々増加傾向にあることから中長期的な更新計画を策定する必要がある。
 管路の状況については、平成4年から平成19年にかけて老朽管の更新を行ったが、未着手地域の管路更新が滞っていることから経年化率は年々増加傾向にある。また、管路更新率は全国及び類似団体の平均と比較すると極めて低い状況であることから、早期に管路更新計画を検討する必要がある。

全体総括

経営状況は概ね良好ではあるが、今後見込まれる償還金のピーク、人口減少に伴う収益減、施設・設備の老朽化に伴う更新需要を明確に把握するとともに、長期的な更新計画を策定し安定した経費配分により施設・設備の更新を進める必要がある。

※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路経年化率及び管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。